消防の広場

119
火事・救急・救助

付けていますか
住宅用火災警報器
月に一度は動作点検

▲多くの海水浴客でにぎわう小天橋海水浴場（久美浜町）

マリンレジャー事故多発

梅雨が過ぎ汗ばむ陽気になると、海水浴や釣りなど、マリンレジャーのシーズンになります。市内にある海水浴場も7月に入ると海開きをし、多くの海水浴客が訪れるようになります。

楽しいはずのマリンレジャーですが、残念ながら毎年多くの事故が発生しています。たくさんの楽しい夏の思い出を作っていただくためにも、マリンレジャーを安全に楽しむためのポイントについて確認しましょう。

死亡事故含め5年間で60件

昨年、市内で発生したマリンレジャーに関係する事故は、12件でした。

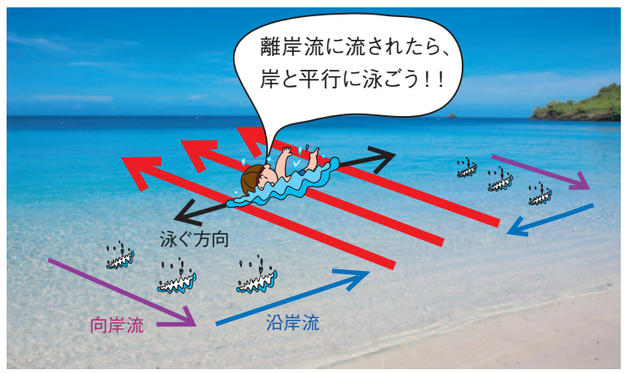
平成21年から平成25年の5年間では60件発生しており、中には尊い命が失われる事故もありました。

事故の原因はいくつか挙げられますが、ちょっとした不注意が命にかかわる重大な事故を招くこともあります。

突然流される離岸流に注意

海上保安庁が調べた平成24年中のマリンレジャーに伴う事故者数をみると、最も多いのが遊泳中の事故で、そのうち約20㌫が離岸流と関係しています。

離岸流は、岸から沖へ向かって強く流れる幅10～30㍍、長さ10～300㍍程度の海流のことで、秒速最大2㍍に達するほど速い流れを持っています。そのため、水泳のオリンピック選手でも流れに逆らって泳ぐことは難しいといわれています。



流される方の多くは、突然海流に巻き込まれること、流れで体の自由が奪われること、さらに速い速度で岸から遠ざかっていくことからパニックになりやすいため、結果としておぼれてしまう方もいます。離岸流に流されたときは、パニックにならないよう落ち着くとともに、岸に向かって真っすぐ泳がず、岸と平行に泳ぐことで離岸流から脱してください。

ごみが集まっている場所に注意

穏やかに見える海でも離岸流は発生します。

例えば、遠浅で海岸線が長いところや河口付近、人工構造物の近くは、海流の変化が起こりやすく注意が必要です。波打ち際にごみが集まっているところや、周囲に比べ海面がざわついているところを見つけたときは、離岸流が発生している場所と考えて近づかないようにしましょう。

また、ライフセーバーや監視員の目が届きにくい場所での遊泳は、発見が遅れて事故になりやすくなるため、避けましょう。

ペットボトルは浮き具に

離岸流に流されている人や遊泳中に溺れている人を見つけたときは、背が立つ場所でもすぐに飛び込まず、周りにいる人に助けを求めましょう。同時に、海上保安庁・消防署へ救助の要請をしてください。

そして、身の周りに助けるための道具がないか探してください。浮き輪はもちろん、クーラーボックスや飲料水などのペットボトルも浮き具として利用できるため、救助隊などが到着するまでの時間を稼ぐことができます。

緊急
海上保安庁 局番なし ☎118
消防署 ☎119

～安全に楽しむためのポイント～

◆遊泳区域内で泳ぎましょう
遊泳区域外は離岸流が発生しやすい場所が多く、監視員の目も届かないため危険です。

◆体調不良のときは海に入らない
睡眠不足や疲れているときは海水浴はやめましょう。

◆お酒を飲んだら海に入らない
事故者の多くはお酒を飲んでいます。平衡感覚を失い溺れる危険性があるので絶対にやめましょう。

◆天気予報を確認しましょう
天候が悪いときや、波が高いときは海に入らないようにしましょう。

◆準備運動は念入りに
準備運動を怠ると海の中でけいれんを起こして溺れる危険性があります。

◆同行者から目を離さない
溺れる人は、息をするのに必死で、助けを求めることができません。常に同行者の状況を確認しましょう。

ペットボトルを利用した救助方法

京丹後市役所

スマートフォンなどの端末を使って上のコードを読み取ると、動画が再生されます。※機種等により再生されない場合があります。

◎火災予防条例を改正

火気使用する露店の開設には届け出が必要に

京丹後市火災予防条例の改正により、祭礼や縁日など多くの人が集まる催しで、火気器具等を使用する露店等を開設する場合には、届出が必要になりました。あわせて、消火器の設置も義務付けられます。

催しの規模により、届出内容に違いがありますので、詳しくは消防本部予防課までお問い合わせください。（☎62-5119）

市民の皆さんが安心して楽しめる催しとなるよう、ご理解とご協力をお願いします。

▲届出書様式（見本）

お問い合わせ先　市消防本部（☎62-0119）ホームページもご覧ください。
http://www.city.kyotango.lg.jp/kcfd/